サービスステーション

コスモSSのご紹介





目指すのはあらゆるサービスが受けられる「街の小さな車屋さん」

コスモ石油セルフ浜北の店舗周辺は一家で複数台の軽自動車を所有されているご家庭も 多く、ご家族全員で当店をごひいきにしてくださっているお客様も少なくありません。当店が 目指すのは、多様なサービスがワンストップで受けられる「街の小さな車屋さん」です。明るい 雰囲気のもとスタッフ一丸となり、お客様満足の追求に取り組んでいます。

2019年1月には店舗の改装を行い、店内は以前より広く綺麗になりました。お客様の反応も 「居心地が良い」と大変上々です。こうしたハード面に負けないよう接客・サービスの品質を 今まで以上に高め、、引き続きお客様満足の向上に努めたいと考えています。





サービスステーション基本情報 貴布祢1500-9 営業時間 24時間営業 電話番号 053-586-0337 コスモ石油 🔷 セルフ浜北



誌名『C's MAIL(シーズ・メイル)』には、「C(コスモ)の 手紙」の意味を込めました。株主の皆様に、心の通った 情報を提供したいという当社グループの願いをこの名 前に託しています。

コスモエネルギーホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 IRグループ

〒105-8302 東京都港区芝浦一丁目1番1号 TEL(03)3798-3180 FAX(03)3798-3841





IRモバイルサイト モバイルサイトへは、このQRコード からアクセスできます。

https://ceh.cosmo-oil.co.jp/ir/ report/index.html



2018年度より始まった中期経営計 画の進捗状況をはじめ、当社グループ 強固な信頼関係、及び多様な人材の 活躍に向けた施策など中心に記載し ました。ぜひご参照ください。



IRメールマガジンが、PCでも ご利用いただけるようになりました

最新IRニュースをお届けいたします。 下記URLにPCからアクセスのうえ、ご登録ください。

https://cosmooil.co.jp/ir mail magazine/

表紙写真について

コスモエネルギーグループのブランド活動 「コスモ石油」ブランドから、風力発電事業など様々な事業 活動のすべてを一つの「COSMO」ブランドに統一して いきます。独自の価値と存在感を発信することで、ブランド 価値向上につなげるブランディング活動を進めていきます。













コスモエネルギーホールディングス株式会社

2019年度 事業のご報告 2019年4月1日~2020年3月31日

01 社長メッセージ C'sMAIL 02



環境変化に柔軟・適切に 対応しながら、「Oil&New」の 実現に邁進します

代表取締役社長 桐山 浩

第6次連結中期経営計画 コスモエネルギーグループは次の一歩へ。石油ビジネスをコアにして、次の事業ポートフォリオを構築。 New 次の成長ドライバーの育成 1 再投資可能な収益力の確保 2 将来に向けた成長ドライバーの強化 3 財務体質の健全化 4 グループ経営基盤の強化

環境は変化するも引き続き 「Oil&New」の基本方針を着実に実行します

新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落など、予期 せぬ事態が相次いで起こり、世界経済とエネルギー業界は、激動 の波に巻き込まれています。コスモエネルギーグループも様々な影 響を受けていますが、私は現在の状況下でも、やるべきことは変わ らないと考えています。

前第5次中期経営計画から全社を挙げて懸命に進めてきた構造改革により、事業に抵抗力をつけることができたと強く実感しています。一例をあげるならば、構造改革の中で、燃料油の中期的な需要減少に備えた体制構築が完了していたため、燃料油需要の減少に対して、外部調達を調整することで、製油所の稼働率を低下させることなく、対応が可能になりました。業界再編が進む中で、統合による規模の拡大よりも、バランスを重視した戦略が功を奏し

たと感じています。

石油をはじめとする化石燃料は、日々の生活に欠かすことのできないエネルギーですが、温暖化が及ぼす気候変動が深刻化する中、消費抑制が強く求められるようになってきています。石油需要は2040年には現在の半分程度にまで減少するとの見方が有力ですが、私は、新型コロナウイルス感染症が与える影響を考えると、脱化石燃料がさらに加速する可能性もあると思っています。長期的な大きな潮流を捉えつつ、短期的な変化に柔軟に対応しながら、石油関連事業の競争力の強化と再生可能エネルギーへのシフトを同時に進める「Oil&New」の基本方針を着実に、かつスピード感をもって実行することで、企業価値の向上を目指してまいります。

2019年度実績

2019年度は、売上高で前年比324億円減益の27,380億円、在庫影響を除いた経常利益は同389億円減益の685億円、親会

社株主に帰属する当期純利益は同813億円減益の△282億円となりました。当期純利益の主な減益要因は一時的な原油価格下落による在庫評価損△522億円によるものです。

石油事業は、キグナス石油への供給開始やIMO規制強化に伴う低硫黄C重油市況良化の影響を享受しましたが、新型コロナウイルスの影響で各種製品市況が悪化したことにより減益となりました。石油化学事業においては2018年度に実施した定期整備影響解消による数量改善効果がある一方で、石油化学市況の悪化により減益となりました。石油開発事業では既存油田の生産数量は回復しましたが、ヘイル油田の生産数量を抑制したことや原油価格下落により減益となりました。

中期経営計画は着実に進捗しています

第6次連結中期経営計画の重点施策は、着実に進捗しています。2022年度には在庫影響を除く経常利益1,200億円を

目標に掲げ各施策に取り組んでいます。

重点施策1 石油事業の更なる競争力強化

石油事業においては、国際海事機関(IMO)の船舶燃料向け硫黄分規制が強化され、全海域で、高硫黄C重油が使えなくなりました。コスモエネルギーグループでは、規制が導入される2020年よりも前倒しで製油所の重質油熱分解装置(コーカー)を増強し、高硫黄C重油を生産しない体制を構築しました。また、2017年に資本業務提携契約を締結したキグナス石油への燃料油供給を2019年7月から開始しています。2020年度は更なる販売数量増加により収益改善効果を見込んでいます。

石油開発事業では、2017年度よりヘイル油田において生産 を開始しておりますが、2019年度は当初想定よりも油層の圧力 低下が見られたため、生産を意図的に抑制いたしました。2020 年度に油層圧回復のため、2次回収に向けた投資を実施する予

C'SMAIL 03 04 社長メッセージ

定でしたが、原油価格の下落と、世界経済の状況を踏まえて、投 **資の実施時期を再検討しています。将来的には、フル牛産による** 利益貢献拡大を期待しています。

重点施策2 事業ポートフォリオの転換

再生可能エネルギー事業で中心となるのが、風力発電事業 です。コスモエコパワーは、風力発電業界におけるパイオニア的 企業で、国内シェアは第3位です。陸上風力発電は2022年度 までに発電量を23万kWから約40万kWに拡大する計画を着 実に進めています。洋ト風力発電事業は、FIT制から入札制に 移行する中で大企業の参入が予想されますが、当社は、他の大 手企業に先駆けて、複数のエリアでプロジェクトを進めており、 競争優位にあると考えています。秋田港・能代港、秋田県由利 本荘沖、青森県西北沖、秋田県中央海域などのプロジェクトを 進め、洋上風力発電のリーディングカンパニーとしての地位を確 立することを目指しています。洋上風力発電の本格展開に伴 い、2030年には100万kWの発電能力を目指しています。

石油化学事業は、成長ドライバーのひとつとして位置づけ、 石油事業とのシナジーを追求しながら、積極的な投資を行ってい ます。国内最大規模のエチレン生産能力を持つ丸善石油化学 は、環境に左右されにくい機能品などを拡大します。例えば、 2020年に荒川化学工業と共同で建設している、紙おむつ等の 衛生材料の組み立てに用いられる水素化石油樹脂の生産設 備が完成する予定です。また2020年度には、ヒュンダイオイル バンクとの合弁会社であるHCP(ヒュンダイコスモペトロケミカ ル)にてパラキシレン製造装置の競争力向上のための省エネ・ 増産投資が完了する予定です。2021年度には、基礎化学品 の高付加価値化を目的として丸善石油化学と共同で建設して いるプロピレン精留塔の商業運転が開始される見込みです。

重点施策3 業務改革(ダイバーシティー・働き方改革)の取り組み

今後中期的に労働人口減少が予想される中、業務改革として 属人的な仕事を大幅に削減し、BPOの推進や、RPAやAlといった 新しいIT技術の投資が必要であると考えています。今よりももっと 短時間かつフレキシブルな働き方ができる体制に変革させ、生産 性の向上、ダイバーシティの推進を目指しています。

コスモエネルギーグループの主要各社では従前より、育児や介護 支援のための在宅勤務制度を設けておりましたが、2019年度に制 度を拡充し、事由や場所を問わず调2日(育児や介護事由では回数 制限なく)テレワークができる体制を整えています。2019年度の 制度利用率は前年比で3倍以上と大きく伸びました。今般の新型 コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受けて、臨時的に週 5日テレワークとなり、本社や支店では、ほぼ全ての社員がこの制度を 使うことになりました。既に時間や場所を問わず働く体制ができてい たため、比較的スムーズに対応でき、この体制でもやっていけるとい う実感を持つことができました。今回得た経験を基に、コスモエネル ギーグループの業務改革をさらに進めていきます。

もっと先に、もっと自発的に、 もっと踏み込んだESG経営を

コスモエネルギーグループでは、エネルギー企業として、人々の 暮らしに安心・安全を提供し、なおかつ地球環境を守る責任を 担っているとの自覚から、他社に先駆けて環境経営を進めてきま した。最近では、製油所および工場の省エネ化、風力発電事 業の拡大、CO2フリー電気(コスモでんきグリーン)の販売などを 進めています。日経企業イメージ調査では、「地球環境に気を 配っている | 企業として、コスモエネルギーグループがビジネス・

パーソンから第3位(627社中)に選ばれるなど、高い評価をいた だいています。

連結中期経営計画と連動して、CSR経営の推進を目的とした 連結中期CSR計画を進めています。私自身は、環境・社会・ガバ ナンスに対する社会の要求が大きく高まる中で、当社も"もっと先 に"、"もっと自発的に"、"もっと踏み込んだ形で"、FSGをさらに進 化させていく必要があると思っています。そこで、2020年4月に、 サスティナビリティ推進部を立ち上げ、環境面をさらに進化させる とともに、社会・ガバナンスの面でも、環境のように先進的と言わ れるレベルに押し上げていきたいと考えています。コスモエネル ギーグループは、2006年2月に国連グローバル・コンパクト (UNGC)に署名し、人権保護、不当労働の排除、環境への対 応、そして腐敗防止に関わる10原則に賛同し、その実現に向け て努力を継続しています。



SDGs (持続可能な開発目標)

SUSTAINABLE GALS





































O5 社長メッセージ C'sMAIL O6

ダイバーシティの推進では大きな手ごたえを感じています。 2019年度に、高山氏を独立社外取締役に迎えましたが、取締役会に女性が加わることで、議論が大きく活性化・多様化することを強く実感しました。2020年4月には執行役員における女性の登用も進めました。このような取り組みの結果、コスモエネルギーグループは、経済産業省と東京証券取引所が共同で女性活躍推進に優れた企業を選定する「なでしこ銘柄」に選ばれました。まだ道半ばではありますが、この動きを加速化したいと思います。

COSMOブランドで、「ココロも満タンに」

これまでコスモエネルギーグループは、「コスモ石油」のブランドで認知されてきました。しかし、地球環境問題から脱化石燃料が求められる中で、コスモエネルギーグループも石油事業を主力事業と据えながらも、再生可能エネルギー事業へポートフォリオの転換を進めています。ブランドについても「コスモ石油」から再生可能エネルギー事業を含めグループ全体が結集した「COSMO」としてブランドに磨きをかけ、育てていく方針です。また、「ココロも満タンに」のメッセージスローガンは、グループ共通のブランドステイトメントとして引き続き使用していきます。一貫性のあるブランディングにより確立されたブランドには、消費者からの信頼や期待が寄せられるため、事業の競争力向上につながります。さらに、優秀な人材も獲得しやすくなり、社員の働く意識が向上することも考えられます。様々な事業活動のすべてを、一つの「COSMO」ブランドに統一して独自の価値と存在感を発信することで、ブランド価値向上につなげていきます。

2020年度の見通し

2020年度は、経常利益(在庫影響除き)は300億円、親会社 株主に帰属する当期純利益145億円を見込んでいます。石油 事業では全世界的に新型コロナウイルス感染症影響により燃料



油需要の減少が見込まれますが、当社ではキグナス石油向けの供給を拡大することで、昨年並の販売数量を維持できるものと考えています。また、2019年度に発生した原油価格の急落に伴う製品マージンのマイナスタイムラグが解消すること、台風等に伴う事故影響がなくなることにより、経常利益(在庫影響除き)は前年比226億円増益を見込んでいます。石油化学事業は海外市況の悪化や丸善石油化学での定期整備の影響から前年比77億円減益を見込んでいます。石油開発事業は原油価格下落の影響により前年比490億円減益を予想しています。

厳しい経営環境が見込まれますが主力の石油事業における 強みは先に述べたように、需給バランスにおけるポジションだと考 えています。当社は2019年度から開始したキグナス石油への供 給により、販売量に比べて生産能力が不足している、ショートポジ ションです。現在、世界的に製油所は生産能力過多であり、製油 所装置の稼働を落としています。新型コロナウイルス感染症影響 により一層燃料油需要が減少するなかにおいても、当社は製油 所の稼働を落とすことなく、対応することができると考えています。

財務体質とのバランスを考えながら 株主還元を進めます

2019年度は、原油価格の下落による在庫評価損の計上により、 財務体質の改善がやや足踏みしましたが、各事業において掲げてい る施策は順調に進捗していることも踏まえ、中長期的な視点で総合 的に判断し、2019年度の配当は一株当たり80円といたしました。今 後も財務体質とのバランスを鑑みながら、持続性のある安定配当を維 持していきたいと考えています。

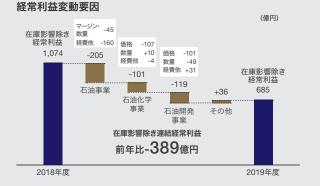
新型コロナウイルス感染症は、コスモエネルギーグループにとりましても、少なからず影響があり、中には、想定していた施策実行のタイミングを再検討しなくてはならないものも出てきました。しかしながら今は、目の前にある状況に合わせて、どれだけ正しい判断ができるのか、経営者としても、企業としても、その本質が問われているのではないかと感じています。

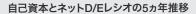
私が確信しているのは、コスモエネルギーグループがこれまで行ってきた施策が強みとなり、環境の変化に応じて、事業のバランスを組み替え、シナリオを自由に組み立てられる企業になっているということです。足元の事業環境は厳しいものの、この厳しさは、当社グループにとってきっといいチャンスになってくれるはずです。社員が誇れる「いい会社」、持続的に成長できる「続く会社」を目指し、これからも全社一丸となって取り組んでまいります。

株主様をはじめ、お客様、お取引様など、全てのステークホルダーの皆様には、今後とも末永くご支援いただきますよう、お願い申し上げます。











07 C'SMAIL 事業概況 08



主なグループ会社

コスモエネルギー開発 アブダビ石油/カタール石油開発 合同石油開発(持分法適用会社) 他

主な資産



原油埋蔵量 (確認・推定)

161百万バレル

約17年分の供給量に相当 (2019年12月末時点)

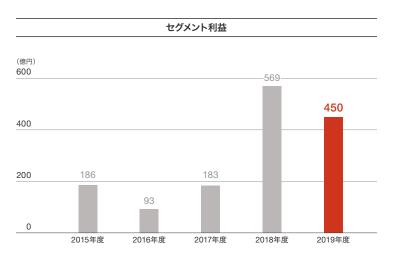
約5.1万バレル/日 精製能力比約13% (2019年1月~12月実績)

原油生産量 (グループ合計)



パートナーシップ

50年にわたる 産油国との強固な信頼関係



当期のポイント

▼ 既存油田の生産数量は回復するも、ヘイル油田の生産抑制や原油価 格の下落により、経常利益は450億円(前年比▲119億円)

次期の想定

✓ 引き続き安全・安定操業を継続するも、新型コロナウイルス影響を起因と する原油価格下落により、経常利益は▲40億円(前年比▲490億円)

今後の取り組み

- ✓ ヘイル油田、既存油田ともに、安定的な原油生産に努めるとともに、 1バレル当たりの生産コスト低減を図る
- ✓ ヘイル油田から最大限、原油を回収するため、2次回収に向けた対応を 検討中



主なグループ会社

コスモ石油 /コスモ石油マーケティング / コスモ石油販売/コスモ石油ルブリカンツ/ 総合エネルギー/ジクシス(持分法適用会社)/ キグナス石油(持分法適用会社) 他

主な資産





国内SS数

40万バレル/日 国内シェア 約11.4%

サービスステーション(SS)数 2,755箇所

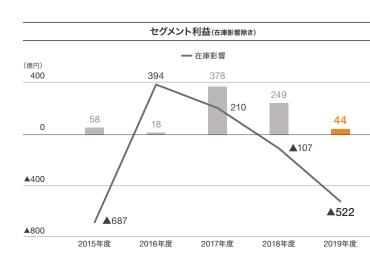


マイカーリース 事業

累計73,634台

2020年3月末現在

※ 事業提携に基づく昭和シェル石油グループからの3.7万バレル日相当の 製品、半製品の供給も含む



当期のポイント

▼ キグナス石油への燃料油供給開始、IMO規制強化に伴う低硫黄C重油 市況良化の影響を享受したものの、原油価格下落に伴う製品マージンの マイナスタイムラグの影響や、ナフサやJETを中心とする4品外市況の 悪化により、在庫影響除き経常利益は44億円(前年比▲205億円)

次期の想定

▼ キグナス石油への燃料油供給拡大による増販効果、前年度に発生した 製品マージンタイムラグ影響の解消、製油所におけるトラブル影響の解 消により、在庫影響除き経常利益は270億円(前年比+226億円)

今後の取り組み

- ▼ キグナス石油への更なる燃料油供給拡大により、四品数量増販を図る
- ✓ 2020年1月より開始されたIMO規制強化に対して、規定に則した船舶用 燃料の増産を図る



C'SMAIL 10 09 事業概況



主なグループ会社

丸善石油化学/コスモ松山石油/ CMアロマ/ ヒュンダイ・コスモ・ペトロケミカル(HCP) (持分法適用会社) 他

主な資産

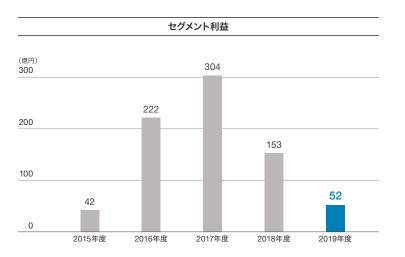


129万トン/年* 国内シェア 約19%



118万トン/年

2020年3月末現在



当期のポイント

▼ 前年度に発生した定修影響解消による数量改善効果はあるものの、 石油化学市況の悪化により、経常利益は52億円(前年比▲101億円)

次期の想定

▼ 前年度から続く石油化学市況の悪化、定修に伴う数量減少により、 経常利益は▲25億円(前年比▲77億円)

今後の取り組み

- ▼ 荒川化学工業との合弁会社である千葉アルコン製造にて水素化石油 樹脂製造設備を2020年末に完成予定
- ✓ HCP(ヒュンダイコスモペトロケミカル)での高度化投資が2020年度中に 完了し、競争力の向上を図る



主なグループ会社

コスモエコパワー/コスモエンジニアリング/ コスモトレードアンドサービス 他

主な資産



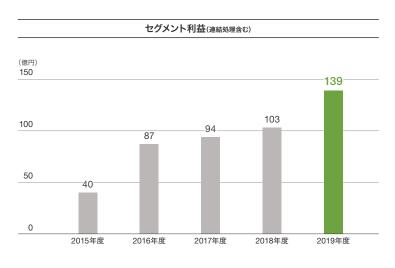
風力発電容量

26.6万kW 全国第3位・国内シェア7%



179基(24地域)

2020年3月末現在



当期のポイント

▼ 主にコスモエコパワーにおける度会2期(三重県、2万2千kW)、姫神 (岩手県、1万8千kW)の運転開始により、経常利益は139億円(前年比 +36億円)

※連結処理含む

次期の想定

✓ コスモエコパワーにおける洋上風力本格進出に伴う開発コスト増加などに より、経常利益は95億円(前年比▲44億円)

※連結処理含む

今後の取り組み

- ▼ 陸上風力サイトでは中紀(和歌山県)を2021年度中の運転開始を目指し 開発を進める
- ▼ 洋上風力サイトは秋田由利本荘、秋田港能代港、青森西北沖、秋田中央 海域の4海域にて、事業プロジェクトを進める

※ 京葉エチレン(丸善石油化学が55%を出資する連結子会社)の生産能力 を含む

C's MAIL

ブランディング活動スタート!

コスモらしさを育てよう!

私たちコスモエネルギーグループが、これからも末永く、お客様と社会にとって他に代わるもののない 「特別な存在」として選んでいただくために、コスモらしさを育ててまいります。

特集

ブランディング活動の意義

当社グループを取り巻く市場環境は大きく変化しています。世界は脱化石燃料へと向かい、競争がさらに激しくなっていく中、コスモブランドに磨きを掛け、育てていくことは、事業の競争力の向上につながると考えています。確立されたブランドは、信頼感や期待感をお客様に与え、差異化しにくい商品やサービス、事業においても、安定した利益を上げることが可能になります。

また、当社グループでは、第6次中計において石油事業のみならず、再生可能エネルギー事業も新たな事業の柱に据えています。ブランド価値を向上させることで、これらの事業や新規事業にも良い影響をもたらし、長期的な企業価値の向上につなげていきます。

ブランディング活動で大切にしていること

コスモブランドといえば「ココロも満タンに」や「オーバルマーク」のイメージ。そんなコスモは「親しみやすい」「誠実」「親切」、そして「環境にやさしい」ブランドとして、高い認知と評価を頂いています。この無形の資産を大切にしながら、コスモブランドを新しい時代によりマッチするように育てていくことが、ブランディング活動です。

ブランドを育てるために最も重要なことは、商品・サービス・人にまで一貫性をもって展開していくことだと考え、ブランドに関わるルールを整備しました。今後は、ブランドに対する理解を深めてもらうための研修も予定しています。

すべてのステークホルダーとの接点において「コスモらしさ」を大切にすることで、 コスモブランドの価値を向上させていきます。



ブランド価値向上がもたらす効果

- 優秀な人材の獲得
- 人材流出の防止
- 業務効率や質の改善
- 従業員のモラルやモチベーションの向上

「コスモらしさ」のキーワード

誠実な、親しみのある、 素直な、親切な

「コスモらしさ」を育てる全ての活動が、 ブランディング活動です。

TOPICS



令和元年度「なでしこ銘柄」に選定

当社は経済産業省が東京証券取引所と共同で女性活躍推進に優れた企業を選定する「なでして銘柄」に選定されました。

コスモエネルギーグループでは、第6次連結中期経営計画「Oil & New」にて、ダイバーシティの推進を掲げており、様々なバックグラウンドを持つ社員が意欲的に働き活躍できる職場づくりに取り組むとともに、多様な価値観、能力、経験を結集させることで、高い生産性の実現と新たな価値創出を目指しています。

また、女性活躍を始めとした多様性の実現に向け、働き方改革 と男女共同参画への意識改革に積極的に取り組んでおり、その 取り組みが、「なでしこ銘柄」選定という評価となりました。



当社グループの取り組み

働き方

- ●フレックスタイム制度やテレワーク勤務制度 など「時間や場所に捉われない働き方」の実現
- 生産性の向上、ワークライフバランスの推進を 目的とした「労働時間の適正化」の促進
- 女性がキャリアイメージを描きやすくするための 社内外女性先輩社員との交流会の開催
- 男女両方を対象とした「キャリアデザイン研修」や 「育児と仕事の両立セミナー」の開催
- ●男性の育児参画を促進するための「出産休暇 (特別有給休暇)」や「育児休業の一部有給化」 の制度化
- 育児中の部下を持つ上司向け研修の実施

「コスモでんきグリーン」販売開始

コスモ石油マーケティング株式会社は、非化石証書*を用いた実質的に再生可能エネルギー由来の環境価値を持つCO₂フリー電気と、コスモエネルギーグループが運営するコスモ石油エコカード基金の環境活動の支援機会を提供する新たな電力プラン「コスモでんきグリーン」の販売を開始しました。

地球温暖化などの環境問題に対する意識の高まりなどを背景に、エネルギーの由来や環境へ与える 影響という観点から電力プランの検討・選択をするお客様のニーズにお応えすべく、日々のエネルギー 使用が環境貢献に繋がる新しい電力サービスが「コスモでんきグリーン」です。

当社では、お客様の更なる電力や暮らしに関するニーズに応えるため、またコスモエネルギーグループが 連結中期CSR計画で掲げる環境施策の推進を実現するため、今後も電力事業ならびに地球環境への 取り組みを推進してまいります。



※「非化石証書」とは、再生可能エネルギーや原子力に由来する電気の非化石価値を分離し、取引を可能にするためその非化石価値を証書化したものです。一般社団法人日本卸電力取引所の運営する非化石価値取引市場において取引されます。なお、本プランでは、再生可能エネルギー由来の非化石証書を購入・使用いたします。

13 14 会社概要 決議通知

会社概要

商号	コスモエネルギーホールディングス株式会社
証券コード	5021
本社所在地	〒105-8302 東京都港区芝浦一丁目1番1号 電話(03)3798-3180
発足年月日	2015年(平成27年)10月1日
資本金	400億円

発行済株式



大株主 (2020年3月末現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
Infinity Alliance Limited (インフィニティ アライアンス リミテッド)	17,600	20.76%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,367	6.33%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,622	4.27%
株式会社みずほ銀行	2,522	2.97%
関西電力株式会社	1,860	2.19%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	1,648	1.94%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	1,580	1.86%
株式会社三菱UFJ銀行	1,580	1.86%
コスモエネルギーホールディングス取引先持株会	1,474	1.73%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,342	1.58%

※ 持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、自己株式には、「役員報酬 BIP信託」により信託銀行が所有する株式は含まれておりません。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金 支払株主確定日	3月31日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、電子公告によることができない事故、 その他やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL https://ceh.cosmo-oil.co.jp/ir/notice/index.html
上場取引所	東証一部

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がない ため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三 井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

見通しに関する注意事項

この「事業のご報告」に含まれる将来の業績などの記述は、現時点における情報に基づき判断されたものです。 こうした記述は経営環境の変化などにより変化する可能性があり、当社としてその確実性を保証するものではありません。



🧾 第5回定時株主総会決議ご通知

2020年6月25日(木曜日)開催の当社第5回定時株主総会において、 下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申しあげます。

報告事項

- 第5期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)事業報告の内容、 連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第5期(2019年4月1日から2020年3月31日まで) 計算書類の内容報告の件

本件は、上記2件の内容を報告いたしました。

決議事項

剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当につきましては、当社 普通株式1株につき金80円と決定いたしました。

定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。定款変更の内容は、 当社ホームページに掲載しております。

https://ceh.cosmo-oil.co.jp/ir/meeting/005/pdf/03_meeting2020.pdf

第3号 取締役(監査等委員である者を除く。) 議案 7名選任の件

本件は、原案どおり桐山 浩、鈴木 康公、植松 孝之、山田 茂、砂野 義充、サーレハ・アル・マンスーリおよびアリ・アル・ダヘリの各氏(7 名)が選任され、それぞれ就任いたしました。

監査等委員である取締役1名選任の件

本件は、原案どおり水井利行氏が選任され、就任いたしました。

補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

本件は、原案どおり若尾英之氏が選任されました。

順主●■ 期末配当金のお支払いについて

第5期期末配当金は同封の「期末配当金領収証」により、払渡期間内(2020年6月26日から2020年7月31日まで)にお近くのゆうちょ銀行または郵便局 でお受け取りくださいますようお願い申しあげます。

また、銀行振込をご指定の方には、「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金計算書」および「 「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認ください。

また、銀行に預金口座をお持ちの場合は、「期末配当金領収証」を当該銀行の窓口にご持参になれば、同口座へのご入金もできます。

ただし、金融機関預金へのご入金手続きは、表記払渡しの期間最終日の3営業日前までに限ります。

以上